

# 第 17 回（2019 年度）土壤物理学会（論文賞）選考結果

土壤物理学会 学会賞選考委員会  
委員長 石黒宗秀

学会賞選考委員会として下記の論文を論文賞としてふさわしいと決定しました。

## 1. 著者

Ca Thi NGUYEN

Shoichiro HAMAMOTO

Taku NISHIMURA

(Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo)

## 2. 対象論文

Effects of soil amendments on pH and aggregate stability of saline sodic soil and acid sulfate soil in Mekong delta, Viet Nam, 第 141 号, p.3 – 18.

## 3. 推薦理由

ベトナムのメコンデルタ地域における特徴的な硫酸酸性土壌、塩性ソーダ質土壌、沖積土壌を対象とし、その地域から排出される卵殻と鶏ふん堆肥（以下鶏ふん）を用いて土壌物理化学性を改良することを目的とした論文である。実験により、次のことを明らかにしている。鶏ふん施用では、塩性ソーダ質土壌・沖積土壌の pH 改善効果および団粒安定効果が認められた。しかし、硫酸酸性土壌の pH 改善効果は、鶏ふん施用単独では認められず、卵殻を混合することで pH 改善効果が進み、団粒構造も安定した。また、鶏ふんの分解促進による効果を CO<sub>2</sub> 発生量から検討している。本論文は、卵殻と鶏ふんを有効利用する土壌改良法について、化学性・物理性・微生物活動の視点から評価した有意義な論文である。

以上の理由により、対象論文は第 17 回土壤物理学会賞（論文賞）に値するものと認め、ここに推薦する次第である。

本結果は 2019 年 10 月 25 日に開催された評議員会にて承認され、2019 年 10 月 26 日に開催された総会で授賞式がおこなわれました。

# 第 17 回（2019 年度）土壤物理学会（ポスター賞）受賞者

土壤物理学会 学会賞選考委員会  
委員長 石黒宗秀

開催日：2019 年 10 月 26 日

会 場：2019 年度土壤物理学会大会ポスターセッション会場  
(つくば市：筑波産学連携支援センター)

以下の発表が会員および学会賞選考委員会の投票によりポスター賞に選ばれました。

- 業 績：手取川の水辺に住むハンミョウ幼虫たちのサバイバルテクニック  
著 者：水田陽斗・百瀬年彦・上田哲行
  
- 業 績：砂粒の蛍光現象（IRSL）を利用した養浜効果の評価  
著 者：蜜澤 岳・雁沢好博・百瀬年彦
  
- 業 績：機械学習を利用した裸地表面における水収支の予測  
著 者：牧 貴広・宮本英揮
  
- 業 績：多価イオンの存在下でのヘテロ凝集の臨界凝集濃度  
著 者：杉本卓也・小林幹佳
  
- 業 績：1G 下および微小重力下における多孔質体中の浸潤速度  
著 者：佐藤直人・丸尾裕一・長沼菜摘・野川健人・登尾浩助

## 登録メールアドレスの確認について

土壌物理学会事務局

このたび事務局では、会員の皆様へ円滑に情報提供するため、電子メールによる情報配信を試験的に運用することと致しました。その作業の一環として、学会入会時に登録されたメールアドレスへ「【土壌物理学会事務局】登録メールアドレスのご確認」と題したメールを2019年8月28日にお送り致しました。

ご返信されていない方は、お手数ですが該当メールの内容にしたがって、事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

メールが届いていない方は、学会名簿に登録されているメールアドレスが古く、未達の可能性がございます。学会ホームページトップの赤いアイコン「お問い合わせ」ボタンから事務局へお知らせください。

# 出版企画案募集のお知らせ

企画準備委員会委員長 長 裕幸

先の土壌物理学学会総会（10月26日）にて企画準備委員会の設置が承認されました。

企画準備委員会では土壌物理学学会の設立60周年に際し、学会活動の更なる活性化を期し、下記の要領で会員の皆様より出版企画を公募いたします。採用された企画に対しては、出版時に学会より50万円（最大）の助成を行います。応募を希望される場合は下記要領に従い、出版企画書を学会事務局へ提出ください。

## 1. 出版企画の条件

- 土壌物理学に関係するもの（教科書、解説書、啓蒙書、あるいは学会誌に掲載された特集、古典を読むなどの記事を書籍としてまとめたもの）であること。
- 土壌物理学学会編を謳うこと（編著者、著者は別途定めて良い）。
- 著者は学会員であること。

## 2. 出版企画書（形式自由、以下の内容を記載してください）

2.1 タイトル

2.2 著者（出版責任者）（分担執筆者がいる場合は執筆陣全員）

2.3 出版物の概要、内容、分量など

2.4 出版の意義

2.5 出版スケジュール

2.6 見積もり（出版社との打ち合わせにもとづいて発行すること）（退職記念などの予算を充当する場合はいわゆるマッチングファンドを考慮することができる）

2.7 締め切り 2020年2月29日

2.8 提出先 土壌物理学学会事務局

## 3. その他

3.1 助成金は出版時に支出します。

3.2 出版の体裁については企画準備委員会と調整させていただくことがあります。

3.3 採用予定件数 1～2件（応募状況等を考慮しながら次年度以降の予定を決めます）。尚、提出された出版企画書については企画準備委員会（委員長 佐賀大学 長裕幸、委員は未定）および評議委員会にて審議を行い、採否を決定いたします。

3.4 本件についてのご質問は企画準備委員会（土壌物理学学会事務局）あてメールでご質問願います。

企画準備委員会では、この他、出版以外の企画等についても広く公募いたしますので、アイデアをお持ちの方は企画準備委員会（土壌物理学学会事務局）に是非ご一報下さい。